

# 資料6-1 埋蔵文化財試掘調査の報告【西宮中央運動公園】

【第3号様式】

西教委文発第350号  
平成30年(2018年)4月2日

西宮市長様  
(担当課:公園緑地課)

## 埋蔵文化財試掘調査の報告について

下記のとおり、試掘調査を実施しましたので、報告します。

### 記

#### 1 所在地

西宮市河原町3番、3番2、8番、28番2、23番

#### 2 調査面積

135.0 m<sup>2</sup>

#### 3 調査の目的

目視ではわからない埋蔵文化財の所在の有無を確認するため。

#### 4 調査期間

第1次試掘調査:平成29年12月4日～平成29年12月6日

第2次試掘調査:平成30年2月26日～平成30年2月28日

#### 5 取扱い

試掘調査の結果、新たに埋蔵文化財が確認されました。

#### 6 その他

平成30年4月2日  
西宮市  
(No.875)

## 平成29年度埋蔵文化財試掘調査実績報告書

西宮市河原町3番ほか 所在

(未周知) 河原町遺跡

2018年

## 埋蔵文化財試掘調査概要

西宮市

遺跡の名称	(未周知) 河原町遺跡	遺跡台帳番号	未周知
所在地 (面積)	西宮市河原町3番、3番2、8番、 28番2、23番 (61817.57m <sup>2</sup> )	調査面積	135.0m <sup>2</sup>
調査主体および組織	西宮市教育委員会	調査担当者	西宮市教育委員会事務局 学芸員 [REDACTED]
原因者 (工事主体)	西宮市	原因 (工事等の目的)	公共事業
調査の期間	平成29年12月4日～12月6日 平成30年2月26日～2月28日	調査費および負担者	西宮市
保護法第93条第1項届出	平成一年一月一日	遺物発見届年月日及び氏名	――――
平面直角座標系 第5系	X=92708.062298556 Y=-138337.39650038	経度 緯度	東経=135.20.45.19 北緯=34.44.55.66
調査の結果	埋蔵文化財が確認された。	報告書の有無	実績報告

調査概要 (立地・外形・遺構の状況・遺物の内容及び数量などを記入し、遺構の図面・写真を添付。)

### 1、調査地の状況

調査地は上ヶ原台地の西南端の平野部に位置する。周辺には、古墳時代から平安時代の散布地として周知されている「広田遺跡No1地点」、「広田遺跡No3地点」が所在する。現在は西宮市中央運動公園の敷地内である。

### 2、調査経緯

中央運動公園の再整備計画があり、工事中の遺跡の不時発見を防ぎ、未知の埋蔵文化財を保護するために、事業課（市公園緑地課等）に事前の試掘調査について、協力を要請し、協議を行った結果、試掘調査を実施することになった。

試掘調査の経過は以下の通りである。

- (1) 平成29年12月1日 発掘調査依頼（西教委文収第412号）
- (2) 平成29年12月4日～12月6日 埋蔵文化財試掘調査（南側）
- (3) 平成30年2月1日 試掘調査の結果回答・中間実績報告書（西教委文発第245号）
- (4) 平成30年2月26日～2月28日 埋蔵文化財試掘調査（北側）
- (5) 平成30年4月2日 試掘調査の結果回答・実績報告書（西教委文発第350号）

### 3、試掘調査について

試掘調査は敷地の南側と北側で2次に分けて実施した。第1次試掘調査は、南側敷地南側のスポーツセンター南側広場と遊具広場に3m×3mの調査坑を合計8カ所設定して、重機及び人力により掘削した。第2次試掘調査は、北側の陸上競技場の周囲から野球場の間の通路部分に、3m×3mの調査坑を合計8カ所設定して、重機及び人力により掘削した。試掘調査は、各調査坑における土層の堆積状況の観察に主眼をおき、遺物包含層及び遺構の検出、遺物の出土に注意して行った。

第1次試掘調査（調査坑1～7）は、スポーツセンター南側広場では、当初、調査坑を5カ所を設定したが、旧建物基礎及び解体ガラにより3カ所の調査坑で土層が確認できなかった。そのため、新たに1カ所、同規模の調査坑を設定した。遊具広場では調査坑を3カ所設定していたが、設定した調査坑のうち東端の調査坑で、埋蔵文化財が確認されたこと、調査時にも遊具広場を市民が利用しているという状況から、1カ所の掘削のみにとどめた。スポーツセンター南側広場で6カ所、遊具広場で1カ所の合計7カ所の掘削となった。第2次試掘調査（調査坑8～15）は、第1次調査の北側において、中央運動公園の利用に影響の少ない地点を選定し、掘削可能な範囲に3m×3mの調査坑を8ヶ所設定した。

以下、各調査坑の結果を記載する。

(1) 調査坑1

調査坑1はスポーツセンター南側広場の北東端に位置する。GL-2.5mまで掘削した結果、GL-2.4mでオリーブ褐色の粘土混極細～細粒砂質シルトの遺物包含層が確認できた。層厚は約10cmである。遺物包含層からは、黒色土器、瓦器が出土した。平安時代から鎌倉時代に属する。

(2) 調査坑2

調査坑2は調査坑1と国道2号の間に設定した。調査坑2はGL-2.3mまで掘削した結果、旧建物基礎が遺存しており、その遺存基礎を避けてわずかに土層の堆積状況を確認することができた。GL-2.1mで、オリーブ褐色の粘土混極細～細粒砂質シルトが確認できた。遺物包含層である。須恵器、黒色土器、瓦器が出土した。

(3) 調査坑3

調査坑3は、スポーツ広場の西側中央に設定した。GL-0.8mで調査坑全体に旧建物のものと思われる基礎が確認され、重機でもそれ以上の掘削ができなかったため、埋め戻した。土層の確認できなかったため、基礎下に遺物包含層が遺存するかどうかも不明である。

(4) 調査坑4

調査坑4は調査坑3の南側に位置する。GL-0.4mで旧建物のものと思われる構造物が確認できた。重曹式のもので深くまで及んでおり、遺物包含層は既に掘削されているものと推定できる。

(5) 調査坑5

調査坑5は調査坑3の北側に設定した。GL-2.0mまで掘削したが、解体ガラが多量に確認できたのみであった。湧水したため、埋め戻した。遺物包含層は既に掘削されているものと推定できる。

(6) 調査坑6

調査坑6は調査坑1と調査坑5の間に設定した。GL-2.4mまで掘削した。GL-2.0mで遺物包含層を確認した。遺物包含層は調査坑1、調査坑2と同様オリーブ褐色の粘土混極細～細粒砂質シルトである。須恵器・土師器・瓦器が出土した。

(7) 調査坑7

調査坑7はスポーツセンターの東側の所在する遊具広場内に設定した。GL-1.6mまで掘削し、GL-1.1mまで現代客土である。以下、細粒砂層とシルトの互層が確認された。砂層からは土師器が出土した。

(8) 調査坑8

調査坑8は陸上競技場の北東部の未舗装の地点に設定した。GL-2.4mまで掘削した。GL-1.2m以下の灰色シルト質極細～細粒砂で須恵器・土師器・瓦器が出土した。

(9) 調査坑9

調査坑9は、調査坑8の東に設定した。GL-2.1mまで掘削したが、湧水が激しく、詳細な遺物包含層の検討ができなかつたが、GL-0.9m付近で確認できた砂質土層は、層序、土色、粒子（目視）から、調査坑8で確認した遺物包含層と同一のものと推定できる。

(10) 調査坑10

調査坑10は、調査坑8・9の東、陸上競技場と野球場の間に敷設されている通路の脇に設定した。GL-1.1mで、遺物包含層を検出したため、掘削をGL-1.6mまでにとどめた。遺物包含層からは、土師器が出土した。

(11) 調査坑11

調査坑11は調査坑10の南側に設定した。GL-2.6mまで掘削した。調査坑11からは遺物はみつからなかったが、GL-1.9mで調査坑8の遺物包含層と同一のものと推定できる灰色シルト質細粒砂を確認した。遺物包含層と推定できる。

(12) 調査坑12

調査坑12は攪乱のため、遺物包含層の確認はできなかった。

(13) 調査坑13

調査坑13は、トイレの西側に設定した。攪乱のため、遺物包含層の確認はできなかった。

(14) 調査坑14

調査坑14は、調査坑13のトイレを挟んで西側に設定した。G-2.8mまで掘削を行い、GL-2.1mで遺物包含層を確認した。遺物包含層からは、須恵器、土師器、瓦器、陶磁器が出土した。

(15) 調査坑15

調査坑15は、遊具広場の北端部に設定した。GL-2.1mまで掘削を行い、GI-1.4mで灰色シルト質極細～細粒砂の遺物包含層を確認した。遺物包含層からは、須恵器、土師器、土錘が出土した。

#### 4 試掘調査の結果

試掘調査の結果、調査坑1、調査坑2、調査坑6、調査坑7、調査坑8、調査坑10、調査坑14、調査坑15で、古墳時代、平安時代、鎌倉時代に属する遺物が出土した。遺物は出土していないが調査坑9、調査坑11では、土層の状況から遺物包含層が遺存するものと推定できる。調査坑3、4、5、12、13は、攪乱を受けており、遺物包含層は遺存していない。

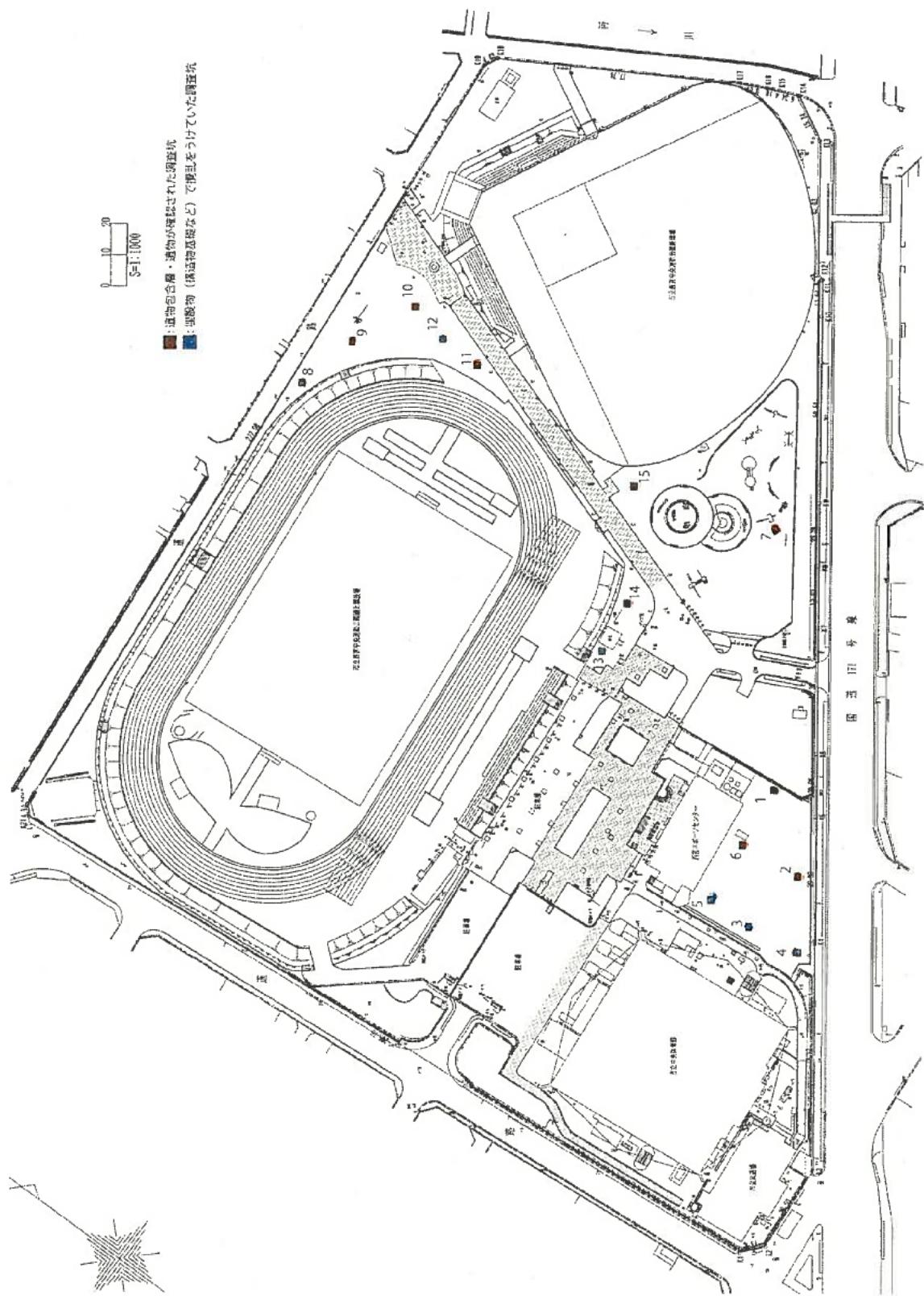
遺物包含層の土質や出土遺物の年代、微地形図などから、調査地の西側に接する周知の埋蔵文化財包蔵地「広田遺跡No3地点」の一部が新たに確認されたものと判断できる。



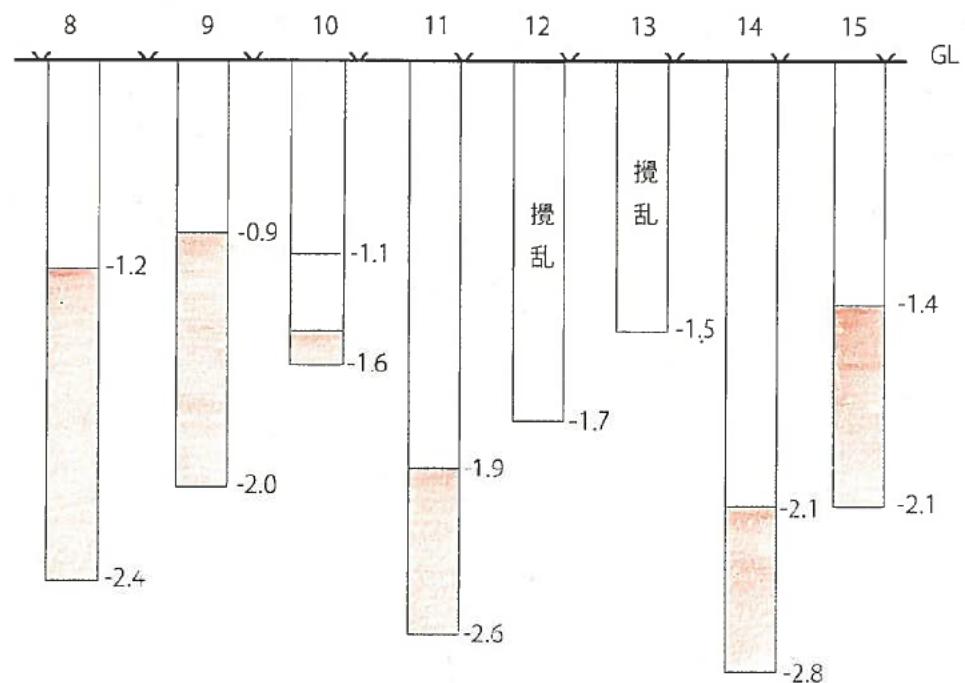
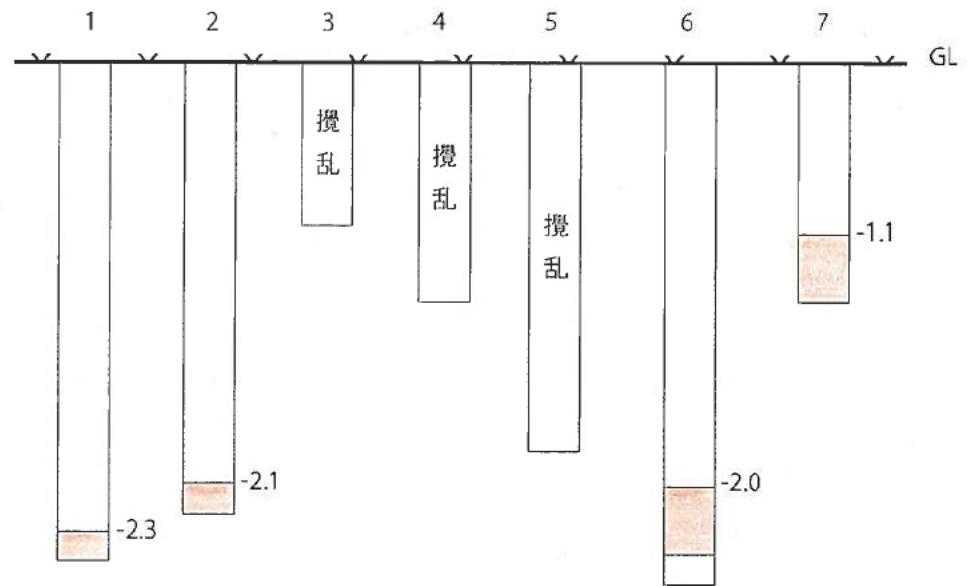
位置図（『兵庫県遺跡分布地図・図幅96（一部抜粋）』1:35000）



位置図（1:2500）



調査坑設定図（※数字は調査坑の番号）

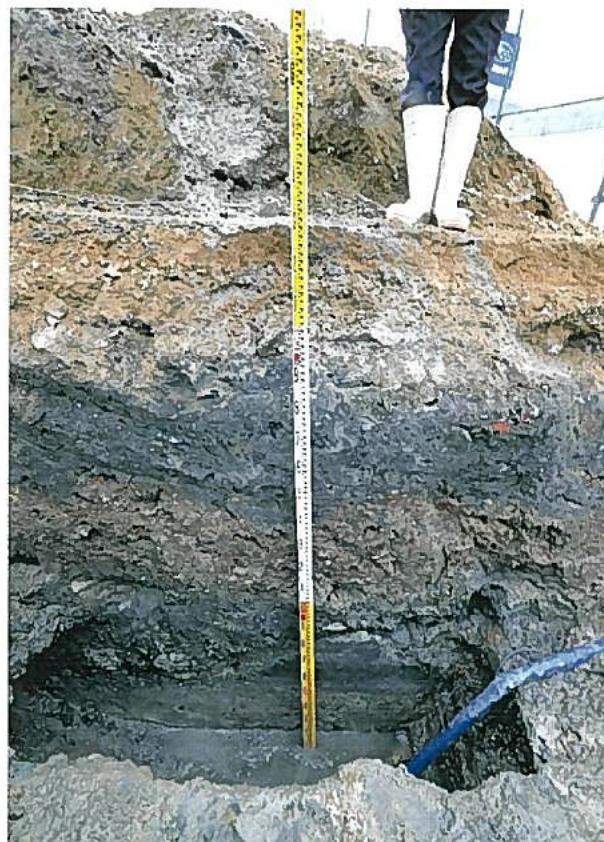


■ 遺物包含層 ※数字は GL からの一値 (m)

土層断面柱状模式図



(写真 1) 調査坑 1 土層断面



(写真 2) 調査坑 2 土層断面



(写真 3) 調査坑 3 土層断面

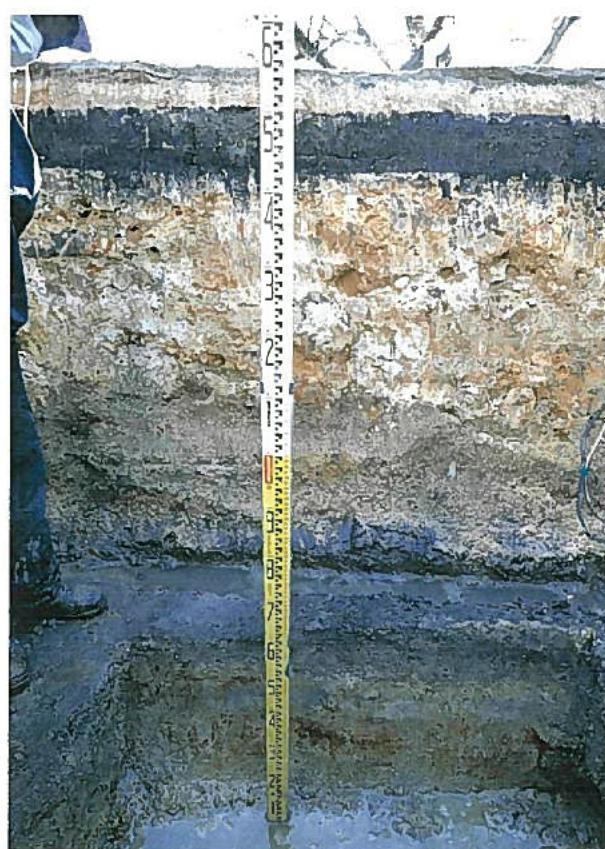


(写真 4) 調査坑 4 土層断面

埋蔵文化財試掘調査実績報告（河原町 3 番外）



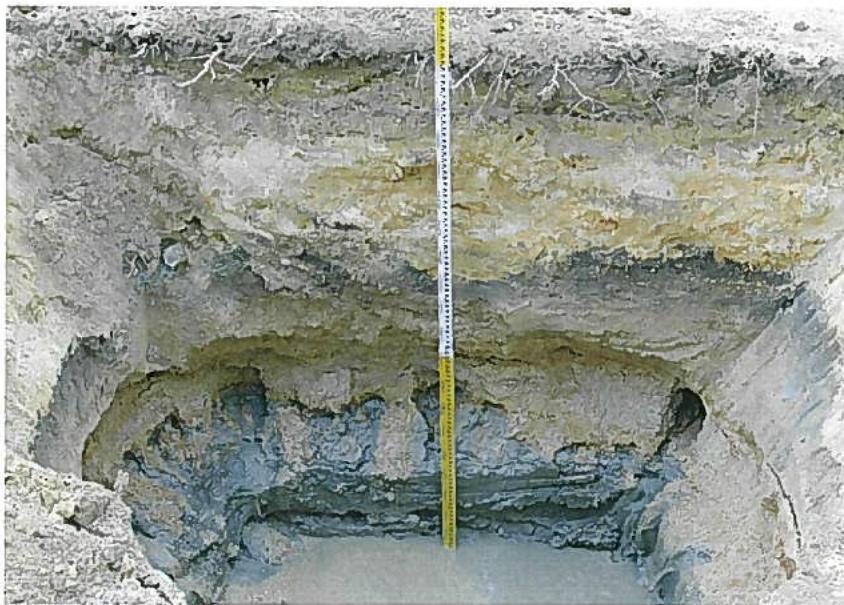
(写真 5) 調査坑 6 土層断面



(写真 6) 調査坑 7 土層断面



(写真 7) 調査坑 8 土層断面



(写真 8) 調査坑 9 土層断面



(写真9) 調査坑10 土層断面



(写真10) 調査坑11 土層断面



(写真 11) 調査坑 13 土層断面



(写真 12) 調査坑 14 土層断面



(写真 13) 調査坑 15 土層断面

埋戻文化財試掘調査実績報告（河原町 3 番外）



(写真 14) 調査坑 1 出土遺物



(写真 15) 調査坑 2 出土遺物

埋蔵文化財試掘調査実績報告（河原町 3 番外）



(写真 16) 調査坑 6 出土遺物



(写真 17) 調査坑 7 出土遺物

埋蔵文化財試掘調査実績報告（河原町 3 番外）



(写真18) 調査坑8 出土遺物



(写真19) 調査坑10 出土遺物

埋蔵文化財試掘調査実績報告（河原町 3 番外）



(写真 20) 調査坑 14 出土遺物



(写真 21) 調査坑 15 出土遺物